

未来社会創造事業 探索加速型
「世界一の安全・安心社会の実現」領域
終了報告書(探索研究)

H30年度 終了報告書

平成 29 日年度採択研究開発代表者

[研究開発代表者名：洪 繁]

[慶應義塾大学医学部坂口記念システム医学講座・准教授]

[研究開発課題名：セルフデータ収集による
ヘルス・セントリック社会の創出]

実施期間：平成 29 年 11 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

§ 1. 研究実施体制

【記載例】

(1)「慶應義塾大学」グループ(慶應義塾大学医学部)

① 研究開発代表者: 洪 繁 (慶應義塾大学医学部、准教授)

② 研究項目

- ・病院情報システムとクラウドをセキュアに接続するためのシステムの実装
- ・患者呼び出しサービスの実装
- ・アプリを使った検査データの送信サービスの実装
- ・スマホ位置情報やバイタル情報を用いた医療アプリの開発

(2)「メディカルデータカード」グループ(メディカルデータカード(株))

① 主たる共同研究者: 西村 邦裕 (メディカルデータカード(株)、代表取締役)

② 研究項目

- ・病院情報システムとクラウドをセキュアに接続するためのシステムの開発
- ・臨床検査センターとの接続方法の確立とクリニックへの導入
- ・患者呼び出しサービスの開発
- ・アプリを使った検査データの送信サービスの開発

(3)「サイバーエージェント」グループ((株)サイバーエージェント)

① 主たる共同研究者: 森脇 大輔 ((株)サイバーエージェント・リサーチャー)

② 研究項目

- ・スマホ位置情報やバイタル情報を用いた医療アプリの開発

§ 2. 研究実施の概要

人類が健康で幸福な生活を送るために必須である個人の健康・医療情報管理の主体を、病院・クリニックなどの医療機関中心の社会から、個人が「自己の医師のもと」「自己の健康・医療情報を」「自己管理できる」社会を実現するため、血液や尿などの検体検査結果や処方箋情報、内視鏡やレントゲン検査の検査報告書、内視鏡画像やレントゲン画像などを、医療機関から個人の情報端末に送信するシステムを開発した。病院の医療情報を送信するシステムのトライアルとして、慶應義塾大学病院を実証検証の場として活用するため、病院の医療情報システム部にシステムを導入した。